



# 校長室だより

令和6年度  
11月29日  
NO.35

## 共に味わう 自然の恵み! 受け継がれる 豊かな生活への思い!



教えてくれて  
ありがとう



こんにやくできた



みんなで味わうミネアサヒ



こんにやく皮むき



こんにやくの  
プレゼント



田の先生ありがとう

5年生の発表

朝の空は清く澄み、山の峰の木立の間より、溢れ出す朝日はまぶしく心地よく秦梨の里を照らします。秋の川は静かに澄んでいて、水面には黄色く染まった川辺の木々を映し出します。

秦梨の子供たちは、昔から「ふるさと学習」で得られた、豊かな自然の恵みを受け継ぎ、分け合ってきました。田の先生に感謝し、みんなでその恵みを楽しむ「収穫祭」が、七日、五年生が中心となって行われました。四月からの稲作りについて全校に発表し、畔柳さん、鈴木さんよりお話をいただき、全校で、炊き立てご飯をいただきました。「うまい」の声があちこちで上がり、顔も自然とほころびます。お代わりをする子もいます。中心となった五年生もどこか誇らしげです。こうして、米作りの苦労やお米のおいしさ、田の先生への感謝などが受け継がれます。

二十七日には、同じく田の先生に教えていただき、六年生にも協力してもらって、三年生が、自分たちが育てた芋で「こんにやく」作りをしました。当然「こんにやくの作り方」のレシピはありますが、実際はそんなに簡単ではありません。水の量、火の入れ時間や入れ加減から、こんにやくの練り方、湯から取り出すこんにやくの硬さなど教えてもらいますが、実際に見て、やってみなければ分かりません。こうした感覚は、いくら情報が多くある現在でも、自分で体験しなければ、身につけません。そしてこうした感覚の伝達が、体験学習の貴重で大事な点だといえます。

こんにやく自体、栄養はあまりないと鈴木さんは言います。けれど、自分たちで作ったものは、売り物とは比べ物にならないほどおいしいです。昔の人もきつと、こうして自分たちの生活を豊かにするために、手間をかけおいしいものを作ってきたのでしょう。昔の人のこうした生活を豊かにし、心を豊かにする知恵も、「ふるさと学習」を通して学ぶことができるのだと感じました。

○児童生活アンケート、友達アンケートありがとうございました。一人一人のアンケートを受け、子供の生徒指導や学級運営に役立っています。今後も気づいたことがあれば、お伝えください。

○26日より駆け足を開始しました。朝のチェック、およびタオル等の準備ありがとうございます。